YAJIMA

24時間風呂システム
温泉お風呂

Ⓡ「温泉お風呂」は登録商標です。

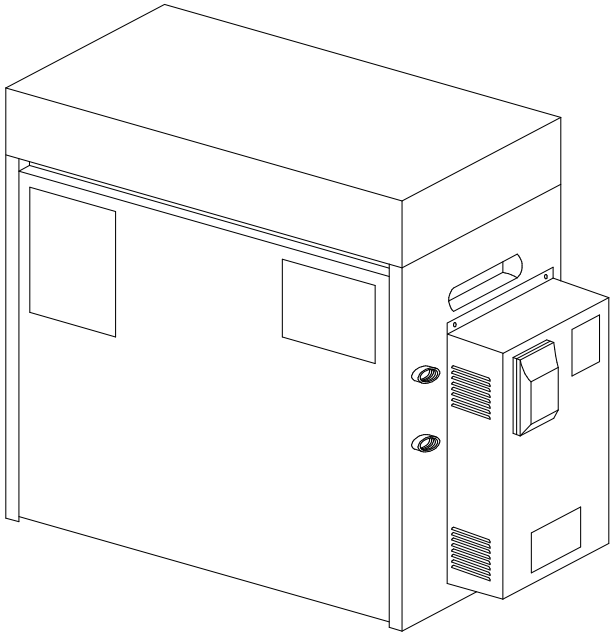
型式 KN－2400 BS－1
KN－2400 BS－2／BS－3

保存版

24時間風呂システム

取 扱 説 明 書

この度は「24時間ず一と快適・温泉お風呂」をお買い上げいただき、
誠にありがとうございました。



電源スイッチ　：浴室内設置
コントローラー：浴室内設置　**専用**
本　　機：屋外設置

ご注意

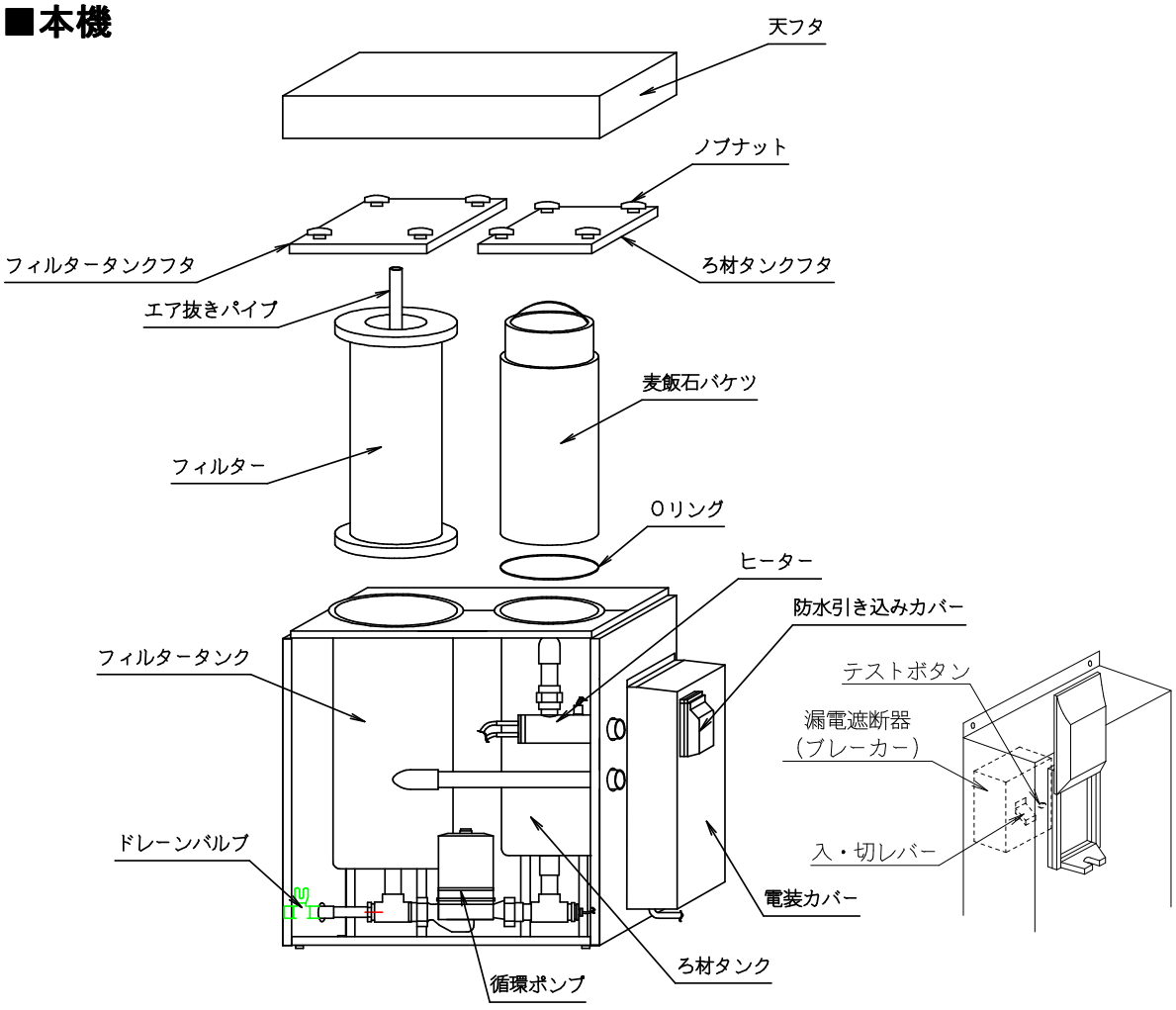
●ご使用の前に、この取扱説明書本文に出てくる「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
●お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
●ガス給湯器併設式は、ガス給湯器に付属の取扱説明書を必ずお読みください。

保証書別添付　設置工事説明書別添付　保守契約制度を上手に使って快適バスライフ

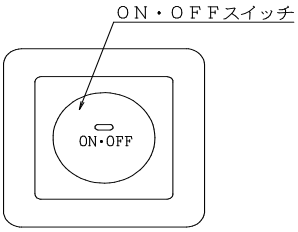
YT－006－06
2013－08

各部の名称

■本機



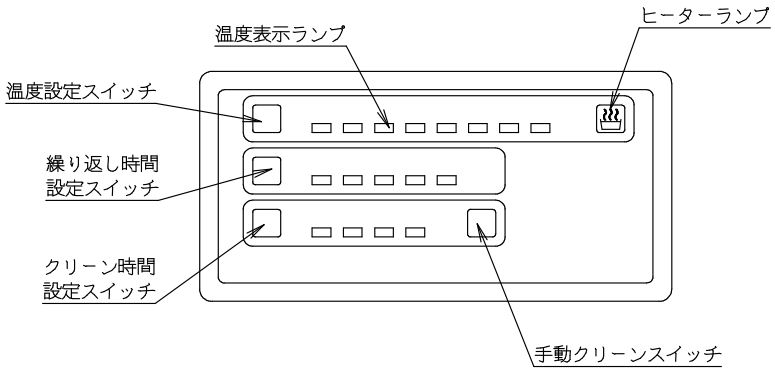
■電源スイッチ



※緊急停止する為のスイッチです。

通常時むやみに操作しないでください。

■コントローラー



もくじ

ページ

各部の名称

安全上のご注意 1
設置上のご注意 2
使用上のご注意 3
移設・点検時のご注意 6

その他のご注意 6
浴水の衛生維持についてのお願い 8

消耗品（交換部品） 12

お使いになる前に 13

運転前の準備 14

運転方法 17

停止・保管方法 20

点検・お手入れ 21
洗浄・殺菌メンテナンスマニュアル 23

故障かなと思ったら 24

アフターサービス 26

仕様 27

業務用温泉お風呂チェックリスト 28

安全上のご注意

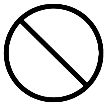
■ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

■これらの注意事項は安全に関する重大な内容です。表示と意味は次のようになっています。

表　　示	意　　味
⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをした場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されるもの。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをした場合、使用者が傷害を負う危険が想定される、または物的損傷のみの発生が想定されるもの。

絵表示については次のような意味があります。

一般的な注意


一般的な禁止

分解禁止

必ず行うこと

必ずアース線を接続すること

火気禁止

接触禁止

ここに表示した注意事項は、誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷等の重大な結果に結びつく可能性が大きいものを特に ⚠警告 と表示しています。 しかし、⚠注意 を表示した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。 いずれも安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
施工者は必ず、お客様に取扱いの説明をしてください。

異常に気づいた時は、取扱説明書の24・25ページの「故障かなと思ったら」の項にそって調べていただき、該当しない場合は運転を停止して販売店、工事店にご連絡ください。

正しい設置および正しい使用をされなかった場合の製品の故障、事故については当社は責任を負いませんのでご了承ください。

設置上のご注意

⚠ 警告

1. 設置はお買い上げの販売店または、当社指定の工事店におまかせください。

設置工事に不備がありますと感電や火災、水漏れ、故障の原因となります。

2. 電気工事はお買い上げの販売店または、専門業者に依頼してください。

配線等に不備があると漏電や火災の原因となります。

3. 感電防止のため接地（アース）の接続を確認してください。
また、アースをはずして使用しないでください。

感電、事故の恐れがあります。

4. ガスボンベ等の近くに設置しないでください。
また、火気を近づけないでください。

近くに可燃性ガス、腐食性ガス等がありますと、事故、故障、火災等の原因となります。

5. 設置後に必ず「ゆるみや漏れがないか」、「電源コード（入力線）がきちんと固定されているか、またはさんだりしていないか」、「本体にガタつきがないか」等を確認してください。

感電、火災、水漏れ、故障の原因となります。
また、本機の転倒によるケガ等の原因となります。

6. 屋内への設置はしないでください。
やむをえず設置する場合は、防水パンを取り付ける等の防水対策をしてください。

水漏れの場合家財を傷める等の原因となります。

7. 本機設置後は、デラックスカバーを掛けてください。
本機は、完全防水ではありませんので、事故・故障の原因となります。

安全上のご注意

使用上のご注意

⚠警告

1. **本装置（本機、電源スイッチ及びコントローラー等）の分解や改造はおこなわないでください。**

   感電、火災、故障の恐れがあります。

2. **本機の電源および電気部品には水やお湯をかけないでください。**

   感電、ヤケド、故障の原因となります。

3. **本機の操作部以外の電気部品には、手を触れないでください。**

   感電、ヤケド、故障などの恐れがあります。

4. **浴槽内の湯かげんを手で確かめてから入浴してください。**

   ヤケドの恐れがあります。

5. **電源コードは延長しないでください。また、重い物を載せたり、ドアにはさんだり、加熱したり、引っ張ったりしないでください。**

   感電、火災などの原因となります。

6. **電源プラグは、ホコリが付着していないか確認し、ガタつきのないようプラグを根本までしっかり差し込んでください。**

   ホコリが付着したり、接続が不完全な場合は、感電、火災の原因となります。

7. **吸込口のカバーが外れた状態及び緩んだ状態での運転は絶対にしないでください。**

   故障、事故などの原因となります。

安全上のご注意

使用上のご注意

⚠警告

8. 小さなお子様の転落にはくれぐれもご注意ください。

一日中浴槽に湯が満たされておりますので、事故の恐れがあります。

9. 小さなお子様の入浴の際には十分にご注意ください。
また、浴槽内には絶対に潜らないようにしてください。

髪の毛が吸込口に吸込まれる等の事故の恐れがあります。

使用上のご注意

⚠注意

1. 本機の上にのぼったり、重い物を載せたり、立て掛けたり衝撃を与えたりしないでください。

本装置の転倒、破損により、ケガ、故障の原因となる事があります。

2. 漏電遮断器（ブレーカー）のテストボタンを押し、正常に作動する（電源が切れる）ことを月に1回以上実施してください。

動作不良があると感電の原因となります。

※正常に作動しない場合は運転を停止して販売店、工事店にご連絡ください。

3. 長時間ご使用にならない場合は安全のため、漏電遮断器（ブレーカー）の入・切レバーを「切」にしてから、プラグを持ってコンセントから抜いてください。
また、本機および浴槽の湯を排水してください。

ホコリがたまって、発熱、火災の原因となる事があります。

コンセントを抜くときには必ずプラグを持って抜いてください。

コードの断線により再使用時に発熱、火災の原因となる事があります。

BS－2・3では、電源（分電盤）の開閉器を「切」にしてください。

安全上のご注意

使用上のご注意

⚠ 注意

4. 定期的に本機の点検、清掃、お手入れを行ってください。
点検、清掃、お手入れする時は、必ず漏電遮断器（ブレーカー）の入・切レバーを「切」にして、電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電、故障の原因となる事があります。

5. 入浴により体に異常を感じた場合は、使用を中止し、専門医にご相談ください。
湿疹、かゆみなどの原因となる事があります。

6. 一般的な家庭用の入浴を目的とする風呂以外での使用をしないでください。
（温泉水の保温、井戸水の保温、温水器代わり等に使用はしないでください。）
故障、部品磨耗などの原因となります。

7. 使用する浴槽、その周辺の材質やメッキが変色したりハクリすることがありますので、材質をよく確認してください。
浴槽は24時間風呂対応のものを使用してください。
24時間風呂対応以外の浴槽を使用すると、変形、変色などが起こる恐れがあります。不明な点は、販売店、メーカーにご相談ください。

8. 緊急時以外は電源スイッチを操作しないでください。
むやみに電源スイッチを操作しますと、循環不良等の原因となります。
（20ページを参照）

安全上のご注意

移設・点検時のご注意

⚠ 警告

1. **修理や、本機を移動再設置する場合はお買い上げの販売店または、当社指定の工事店にご依頼ください。**

修理や設置に不備がありますと、感電、火災、故障等の原因となります。

2. **異常時（ごげ臭い等）は、運転を停止して電源プラグをコンセントから抜いてください。**

■お買い上げの販売店または、メーカーにご相談ください。

※異常のまま運転を続けると感電、火災、故障の原因となります。

その他のご注意

⚠ 注意

1. **入浴するときは体の汚れを洗い流してから入浴してください。**

体に付着している菌を浴槽に持ち込むと菌が繁殖して菌による疾病を起こす原因となる事があります。

2. **浴槽水の入れ替えは、最低月に1回以上（業務用は週に1回以上）行ってください。**

入浴状況に合わせて、浴槽水を交換してください。

浴槽水を入れ替えなかったり、お手入れをしないと、菌が繁殖しやすい環境となり、疾病を起こす原因となる事があります。

特に業務使用される場合はご注意ください。

3. **浴槽に付着した湯あかや汚れは入浴後に手でこするか、きれいなスポンジ等で拭き取ってください。**

浴槽に湯あかや汚れ等が付着していると菌などが繁殖しやすい環境となり、菌による疾病を起こす原因となる事があります。

その他のご注意

⚠ 注意

4. 浴槽内のお湯をシャワーに使用しないでください。

浴槽水のエアロゾル（目に見えない水粒子）が発生した場合に、細菌を吸い込み疾病を起こす原因となることがあります。

5. 浴槽内にタオル等を入れないでください。

タオル等に付着している菌や汚れなどが浴槽内に入り、菌の繁殖しやすい環境となり、菌による疾病を起こす恐れがあります。

6. 身体に傷、化膿症のある方は、入浴を控えるか、患部を浴槽内のお湯につけないでください。

化膿傷から浴槽内に菌を持ち込む事があり、感染の原因となることがあります。

7. 体調の思わしくない方は、クリーン運転（気泡ジェット）を使わないでください。または、入浴を控えてください。

浴槽水のエアロゾル（目に見えない水粒子）が発生した場合に、細菌を吸い込み疾病を起こす原因となることがあります。

8. 洗浄には酸性洗剤を使用しないでください。

※殺菌に塩素剤を使用するため、塩素ガスが発生する恐れがあります。

9. フィルタータンク・ろ材タンクのパッキンなどの取扱いに注意してください。

折り曲げたり、上に重い物を乗せないでください。
パッキンが傷ついたり、変形などが起こり水漏れの原因となります。

10. ペット（動物等）を入浴させないでください。

ペットの体に付着している汚れ、菌等が浴室内（浴槽内）で繁殖して菌による疾病を起こす原因となることがあります。

その他のご注意

浴水の衛生維持についてのお願い

本機の浴槽衛生維持管理には、以下のような日常のお手入れと注意をお願いします。
保守契約にご加入いただきますと、最新の維持管理が可能です。 ぜひご利用ください。

1. 水質特性について、下記のように維持が可能です。

項目	濁度	色度	臭気	PH	過マンガン酸カリウム消費量
標準上限	2度以	5度以	異常でない事	5.8～8.6	25mg／L以下

※標準上限値は、初期ニゴリのあるものについては、その解消時期よりの適合値を示す。
※検水は、無入浴5時間以上経過した浴水を専用容器で採水し、直ちに検査機関に持ち込まれた物とする。また、採水者は採水の手法を承知していること。
※水道水を使用していることとする。
※もっぱら入浴用のみに使用されていることとする。
※日常のお手入れ・入浴方法（下記2．）に示す、お願い事項が覆行されているものとする。

2.「日常のお手入れ」「入浴方法」について

上記1．の水質特性を維持するため「その他のご注意」に記載された事項の他、次の項目を覆行いただき、上手にご利用ください。

(1)「日常のお手入れ」

ご利用機種によるメンテナンス部品に「期間内お手入れ」を実施してください。
（保守契約をいただきますと契約内容によりサービスマンが実施いたします。）

項	部品名称	お手入れの部位	メンテナンス期限と処置
1	フィルター	フィルタータンク内	約 延べ1000人 交換
2	ろ材	ろ材タンク内	約 延べ1000人 洗浄
3	浴水	浴槽・本機装置内	1ヶ月以内 毎 交換 （業務用は1週間以内）
4	配管路	全水系（配管・装置内・給湯器内・浴槽）	6ヶ月以内毎 洗浄・殺菌

※入浴者数が 延べ1000人に達していない場合でも、半年に1回のメンテナンスを行ってください。

※4の項は洗浄・殺菌メンテナンスマニュアル23Pに従ってください。

12ページ「消耗品」も参照してください

3. 水質の安全性について

当社おすすめ塩素剤を毎日浴槽に投入し、浴水管理してください。
詳細は9Pを参照してください。

その他のご注意

浴水の安全性強化

※使用状況に合わせたお手入れ（浴水の入れ替え及び風呂の洗浄など）を行ってください。

※殺菌の強化のため下記のものなどがありますのでご利用してください。

［注意］ 酸性の製品と混ざらないように注意してください。

投入量を間違えないようにしてください。

◎塩素剤（ピューラックス）次亜塩素酸ナトリウム（6%）

※お近くの薬局にご相談ください。

業務使用されるお客様は「公衆浴場における衛生管理要領」などに沿った、衛生管理をして頂けますようお願いします。

●公衆浴場における衛生管理要領（塩素濃度管理の抜粋）

浴槽水中の遊離残留塩素濃度を頻繁に測定して、通常0．2～0．4mg／Lを保ち、かつ遊離残留塩素濃度は最大1．0mg／Lを超えないようにすること。

検査記録を作成し、3年間保管すること。

※その他の項目等については「公衆浴場における衛生管理要領」を参照してください。

投入量目安（1回当たりの参考投入量）

1日1回入浴開始の2時間前に入浴水に投入する。

ピューラックス（6%）600mgボトルのキャップが約6mgです。

キャップ1杯が1回分です。（浴槽約300リットルの場合）

「注意」 上記の投入量は参考値です。水質などにより投入量は変わりますので、

残留遊離塩素濃度を基準に投入量を変えてください。

定期的に残留遊離塩素濃度の測定をして、濃度管理を行ってください。

塩素を入れすぎますと、濁り・製品等の劣化の原因になりますので注意してください。

※その他の塩素剤をご利用になる場合は、投入量が異なりますのでご注意ください。

その他のご注意

浴水の衛生維持についてのお願い

（1）「入浴方法」

下記の事項をお守りください。

①入浴するときは、体を良く洗ってから入浴してください。

②入浴（浴槽に入る）前に、「かけ湯」をしてください。かけ湯は体の汚れを流すと共に浴槽内のお湯の入れ替えを促進するために重要です。

③循環水の量の低下、浴水の濁り、臭いが発生した場合は、浴水を交換し、早めに装置のお手入れ実施してください。

④浴槽の壁面に「ヌメリ」を感じたらその日の内に、入浴後スポンジ等で拭き取ってください。

⑤「浴槽水を利用するシャワー装置」でのシャワーは使用しないでください。

⑥温水器や給湯器でのシャワーは「シャワーヘッドを時々分解して清掃・殺菌」してお使いください。

⑦「クリーン運転（気泡運転）」は、入浴中はできるだけ使用しないでください。

⑧入浴しない時は「フロフタ」をしてください。

⑨医師から入浴の制限を受けている者、抗生物質を常時服用している者、病気の者、体にキズ、ケガをしている者は入浴（浴槽に入る事）をしないでください。

⑩入浴により身体に異常を感じたときは、直ちに「２４時間風呂」を使用していることを医師に告げ、診断を受けてその指示に従ってください。

日常のお願い

1．浴槽内の吐出金具、吸入金具を手やタオル等でふさがないでください。

配管のつまり、故障、水漏れの原因となります。

2．湯温は47℃以上にしないでください。

部品の劣化、破損の原因となります。

3．必ず水道水をお使いください。

井戸水等を使用すると、部品の劣化、故障の原因となります。

その他のご注意

日常のお願い

4. 空運転、ヒーターの空焚（水のない状態での運転）はしないでください。

故障、部品磨耗の原因となります。

5. 本機の制御箱の通風口をふさがないでください。

通風口（換気ガラリ）を布、ビニール等でふさがないでください。

故障の原因となります。

6. 入浴剤、洗剤等を入れないでください。

部品磨耗、消耗の原因となります。

7. 電源の電圧はBS－1で単相AC90V（ボルト）から110Vまで、BS－2・3で三相AC180Vから220Vまでです。

これ以外の電圧で使用しますと故障の原因となります。

8. 締め切り運転をしないでください。（バルブの締め切り、異物のつまり等。）

フィルター・ろ材は定期的あるいは、目詰まり発生時に交換・洗浄してください。 故障、水漏れ、部品劣化の原因となります。

9. 凍結させないでください。

冬場などに循環をとめるときは本機内と配管パイプ内の水を抜いてください。 凍結させますと、部品、配管の破損の原因となります。

10 本機には、デラックスカバーを掛けてください。

本機は、完全防水ではありませんので、事故・故障の原因となります。

消耗品（交換部品）

品　　名	数量	交換の目安	廃棄方法
フィルターN2（コアなし）	1	約延べ1000人	乾燥させて不燃物
ろ材 （麦飯石17kg）	1	3年程度	乾燥させて不燃物
樹脂バケツ用ゴムパッキン P150A	1	3年程度または キズ付き時	不燃物
ろ材タンクパッキン P－1	1	3年程度または キズ付き時	不燃物
フィルタータンクパッキン P－2	1	3年程度または キズ付き時	不燃物
ゴム、ホース類	1式	3年程度または キズ付き時	不燃物
循環ポンプ	1	3年程度	不燃物
オゾン発生器用 エアーフィルター	1	6ヶ月程度	不燃物
2方電磁弁	1	2～3年程度	不燃物

●交換のめやすは標準的時間を表示したもので、耐久性を保証するものではありません。

●基本的に製品全てが消耗品です。 特に消耗しやすい部品を上記に記載してあります。

●上記以外の部品でも定期的に点検を行い、異常があれば交換してください。

お使いになる前に

1. はじめてお使いになるとき

●このシステムをお買い上げになった販売店または工事店に試運転を行わせ、必要な説明を受けてください。

●浴槽の排水栓を確実にしてください。微妙な漏れでもダメです。

●本機の電源プラグがコンセントに差し込まれているか確認してください。

2. 使い始めてから

●入浴する時は身体の汚れをよく洗い流してから入浴してください。

●入浴後は風呂に「フタ」をしてください。

●浴水量は浴槽内の吐出口より常に上にしてください。

●電源スイッチ・コントローラーのお手入れは、水で絞った布で表面を軽く拭いて下さい。

シンナー・ベンジンや塩素系・酸系の洗剤は使用しないでください。

●浴槽の水ぎわに汚れがつきやすくなりますので、入浴の際軽く手のひらでこすり落としてください。

●お子様がイタズラしないようにご注意ください。

●本機の電気ヒーターは、水からお湯を沸かし上げる能力はありませんので40℃近辺のお湯を給湯してください。

●ご使用当初、ろ過能力が安定するまでの間、お湯が多少濁ることがありますが1～2週間できれいなお湯になります。濁った場合はお湯を交換してください。

3. 運転を止めるとき

●長期にわたってご不在になる場合は本機の漏電遮断器（ブレーカー）の入・切レバーを「切」にして運転をとめ、本機内と浴槽のお湯を全て抜いてください。

（19Pを参照してください。）

運転前の準備

■初めてお使いになる場合と、メンテナンス（洗浄、ろ材の交換、浴槽の水抜き等）は以下の作業を行ってください。

①電源のカット

1．電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。

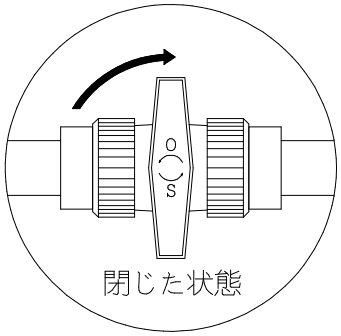
●BS－2･3タイプは電源路を切ってください。（AC200Vタイプ）

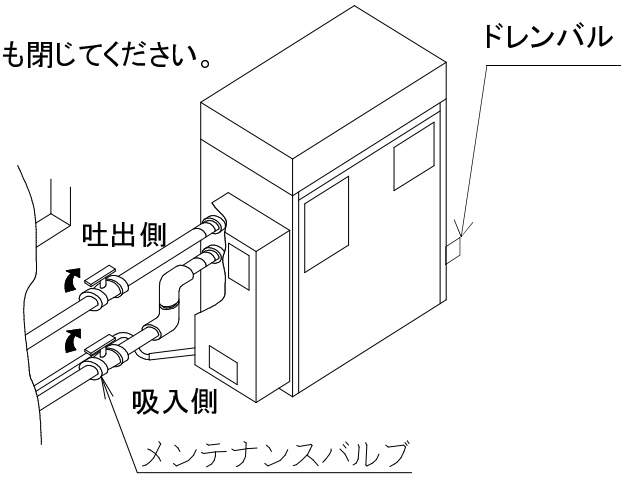
●アースが確実にされているかを確認してください。

②各バルブの閉鎖

1．メンテナンスバルブ

●本機と浴槽をつないでいる配管の中間にメンテナンスバルブが設けてあります。
このバルブを吐出側、吸入側の2つとも閉じてください。



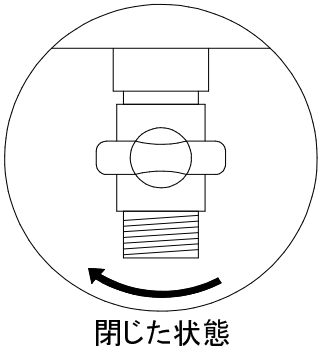


2．ドレンバルブ

●本機の制御箱反対面下にあるドレンバルブを閉じてください。

●ドレンバルブの閉じかたが不十分ですと、運転中に水漏れを起こしたり、空気を吸い込んだりします。

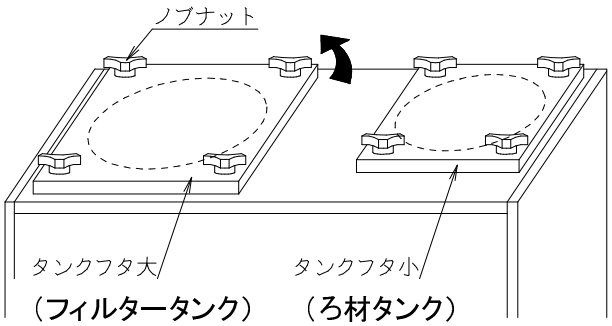
●反対方向に無理矢理回したり、過大な力をかけて回すと破損しますので注意してください。



運転前の準備

③ろ材の洗浄

1．天フタを外し、本機のタンクのフタ（大・小）を止めているノブナットを4つとも反時計方向に回してゆるめ、タンクフタを2枚ともはずします。



2．タンクフタ小を外し、ろ材タンク内の樹脂バケツを取り出します。

●樹脂バケツを取り出す際、Oリングを傷つけないように注意してください。

3．付属の「ろ材ダンボール」の梱包を開いて、中の麦飯石を取り出してください。

4．大きめのバケツ等に水を溜めて、麦飯石を濁った水が出なくなるまですすぎ洗いしてください。

●ろ材は乱暴に扱わないでください。

5．洗い終わりましたら、樹脂バケツの中にろ材（麦飯石）を収納し、ろ材タンクの中に納めてください。

●Oリングがしっかりはまっているか確認してください。

●また、Oリングが落ちないように注意してタンクに収納してください。

運転前の準備

③ろ材の洗浄

6. フィルタータンク内にフィルターとエア抜きパイプが収納されているか
確認してください。

④タンクに水を溜める

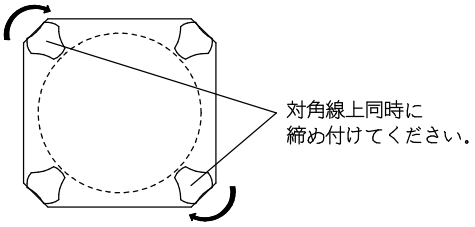
1. タンクにホース等で水を口元いっぱいまで入れてください。

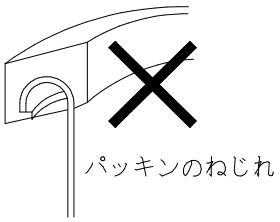
●取り出した部品がある場合は正しく装着してください。

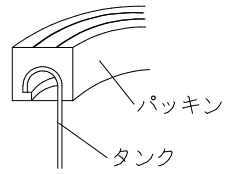
●メンテナンスバルブ、ドレンバルブを開けないでください。

2. それぞれのフタをタンク上にのせて、ノブナットを対角線上に
十分に締め付けて下さい。

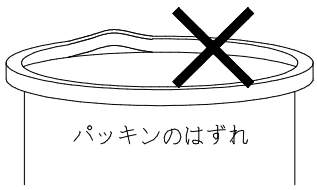
●締め付ける前に口元のパッキンの納まりを確認してください。
ねじれやはずれがありますと水漏れ等の原因となります。
ノブナットは工具を使用して回さないでください。







断面図



3. 湯張りは、浴槽の吐出金具より10cm以上になる様に40℃近辺の
お湯を入れてください。

●浴槽の排水栓がしっかりはまっているか確認してください。

●本機は風呂を沸かす能力がありませんので、必ず
給湯器より40℃近辺のお湯を入れてください。

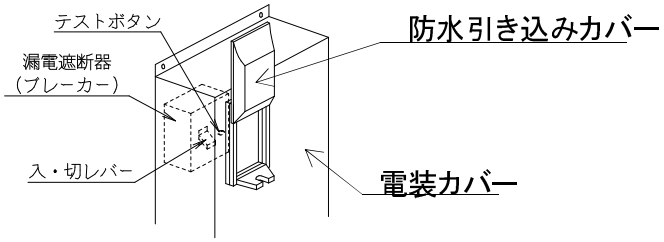
運転方法

本器・電源スイッチ

1．コンセントにプラグを差し込んでください。

●BS－2・3タイプ（AC200Vタイプ）は電源（分電盤）の開閉器を「入」にして下さい。

2．電装カバーの防水引き込みカバーのフタをスライドさせて、
開口部から漏電遮断器（ブレーカー）の入・切レバーを上げて
「入」にしてください。

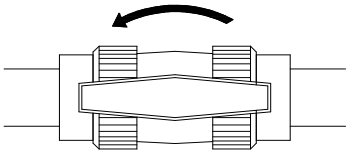


※循環ポンプが動かない場合は、浴室内の電源スイッチが「OFF」になって
いますので、一回ブレーカーを「切」にしてから浴室内の電源スイッチを
「ON」にして、再度ブレーカーを「入」にしてください。

3．メンテナンスバルブを吸入側（吸入口の表示）、吐出側（吐出口表示）
の順で開いてください。

●吸入側バイブは、すぐに全開にして下さい。

●吐出側バルブはまず30度ほど開き、循環が安定してから（タンク内に
水流が出来るのを確認してから）、ゆっくりと全開にしてください。



開けた状態

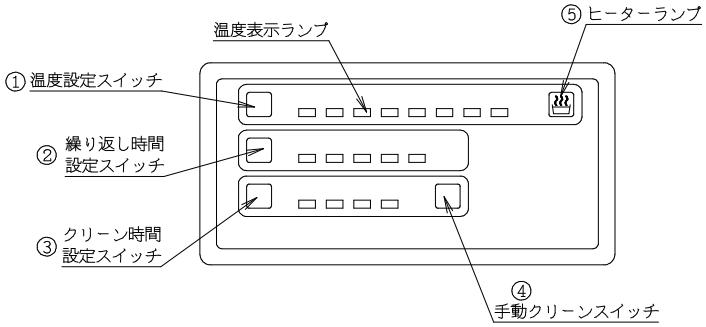
4．浴槽内に勢いよく水が吹き出しているのを確認してください。
3分程しても循環が弱かったり、循環がない場合は、14Pの
手順からやり直してください。
（運転を停止し、タンクに水を入れ直し、再度運転してください。）

●水が正しく循環しないうちは、コントローラーの温度
設定を行わないでください。故障の原因になります。

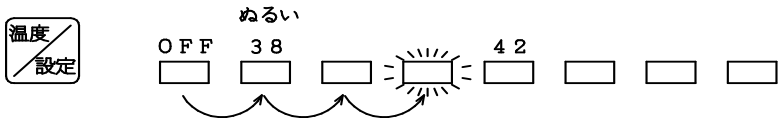
5．天フタ、電装カバーの防水引き込みカバーを、元通りにかぶせてください。

運転方法

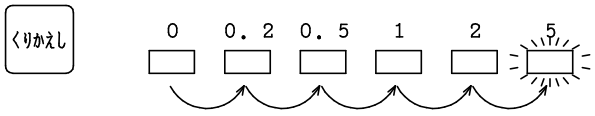
保温温度設定について



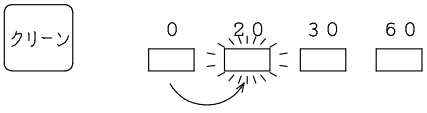
1. ①温度設定スイッチを押してお好みの温度に設定してください。
   - ●電源投入時（停電復旧時）は表示が「OFF」の位置で点滅していますが故障ではありません。 設定完了後から10秒ほどしますと現在の温度を表示します。
   - ●⑤ヒーターランプは押しボタンではありません。 ヒーター通電時に点灯するランプです。



2. 自動クリーンの②繰り返し時間設定スイッチを押して「5」時間（標準）に設定してください。



3. 自動クリーンの③クリーン時間設定スイッチを押して「20」分（標準）に設定してください。



4. 自動クリーン（気泡ジェット）を停止中に作動させたい場合は、④手動クリーンスイッチを押してください。逆に止める場合もスイッチを押してください。
   いずれの場合も「2．3．」の設定時間分だけ、作動または、停止しています。
   - ●音がうるさい等の理由で夜間自動クリーンを停止させたい場合は、③クリーン時間設定を押し「0」分に設定してください。
     ただし、朝になったら必ず標準設定に戻してください。

停止・保管方法

運転を止めるとき

◇長期間（寒冷地の冬は2・3日でも）ご不在になる場合は、本機の保護及び省エネの為、必ず下記の処置を行ってください。

●ご不在中に配管の凍結による破裂や、本機の故障を防止する為の処置ですので必ず行ってください。

1. 電装カバーの防水引き込みカバーをスライドさせ、漏電遮断器を「切」にしてください。

2. 本機の電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。
   ●必ずプラグを持って抜いてください。

3. 浴槽の排水栓を抜いて、浴水を排水してください。

4. タンクフタを取り外し、ドレーンバルブを開いて機内の排水をしてください。
   最後にメンテナンスバルブ、ドレーンバルブが開いているのを確認してください。

停電のとき

1. 電装カバーの防水引き込みカバーをスライドさせ、漏電遮断器を「切」にしてください。

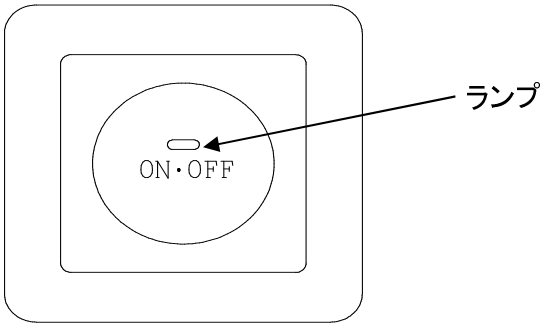
2. 落雷等により停電になった場合は、本機の電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。
   ●必ずプラグを持って抜いてください。

3. 停電が復旧しましたら、14Pの作業にもとづいて運転を再開してください。
   ●停電（電源を切った場合）後再運転開始時に、温度設定が「OFF」になっていますので、18Pにもとづいて温度設定をし直してください。

停止・保管方法

浴室内からの装置運転停止

本機の運転をON・OFFする電源スイッチが、コントローラーとは別にございます。
運転ONの時にはスイッチの赤いランプが点灯し、OFFの時は消灯しております。



電源スイッチ

[ご注意]

電源スイッチは、運転の緊急停止を目的とした用途のため、通常メンテナンス等で
作動確認以外はなるべく操作しないようにしてください。
また、お子様がいたずらに操作しないようご注意お願い致します。
※循環不良や、装置の故障につながる場合がございます。

装置を長期間停止する場合は、必ず本機の漏電遮断器（ブレーカー）で
電源を「切」にしてください。

点検・お手入れ

フィルターの交換

8P「浴水の衛生維持についてのお願い」の他に下記のお手入れをしてください。

◇本機のろ過用フィルターは定期的、あるいは目詰まり発生時に洗浄・交換してください。

洗浄・交換の目安

①浴水が濁ってきたり、異臭がしてきたとき。

②循環の勢いが弱くなってきたとき。

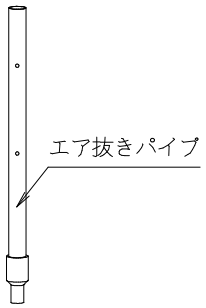
③本体の天ブタを開けてタンク内のフィルターがかなり汚れていたとき。

④交換条件を満たしたとき。（3～6ヶ月以上経過、または延べ人数が1000人を越えたとき。

●交換用のフィルターは販売店に注文してください。

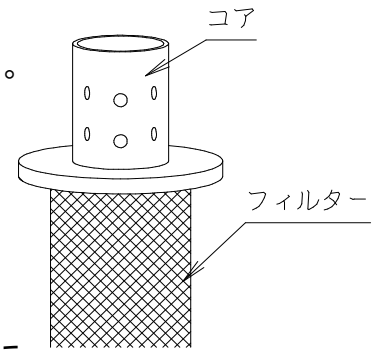
●フィルターの交換時は、ろ材の洗浄も同時に行ってください。

1. 作業前に、新しいフィルターの用意をしてください。
2. ホース・洗車ブラシ・スポンジ・バケツ等の用意をしてください。
3. 本機の運転を停止します。（19P参照）
4. メンテナンスバルブを吐出側・吸入側共に閉じてください。



5. タンクのフタを取り外し、中身をすべて取り出してください。
6. ドレーンバルブを開いて、本機内の水を排水してください。
7. フィルターからコア（穴あきパイプ）を引き抜いてください。

●交換用のフィルターにはコアが付いておりませんので旧フィルターより引き抜いて、きれいに洗浄してから新しいフィルターに付け替えてください。



8. タンク内・コア・エア抜きパイプを洗車ブラシ等できれいに洗浄してください。
9. ろ材の洗浄、交換を実施してください。（22P参照）

点検・お手入れ

ろ材の洗浄・交換

8P「浴水の衛生維持についてのお願い」の他に下記のお手入れをしてください。

◇フィルターの交換と同時にろ材の洗浄・交換してください。

●ろ材の交換時は販売店に注文してください。

●ろ材の交換の目安は、3年程度としてください。

●麦飯石バケツ底のOリングにキズがあったり、はまりが悪くなってきたときは交換してください。

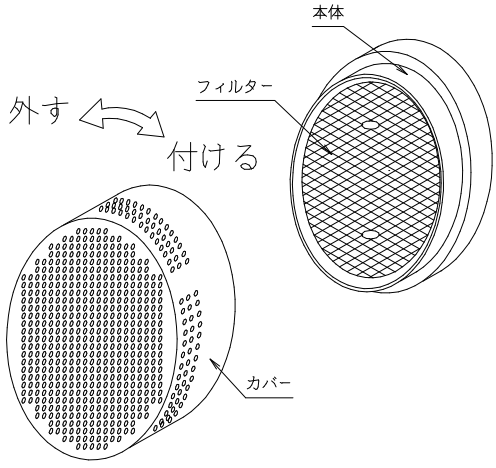
1. 作業前に、新しいろ材・Oリングの用意をしてください。（交換する場合）
2. ろ材洗浄・交換はフィルター交換時に同時に行いますので先に、21Pの作業を行ってください。
3. ろ材タンク内からろ材を、麦飯石バケツごと静かに取り出してください。
4. ろ材をバケツ等に少しずつ移し、数回に分けてきれいに洗ってください。
   濁った水が出なくなるまでよく洗ってください。
   ●ろ材を乱暴に扱うと粉砕しますので注意してください。
5. ろ材タンク内・麦飯石バケツをきれいに洗浄してください。
6. 麦飯石バケツに洗ったろ材をもどしてください。
7. 麦飯石バケツの底のOリングの取付をよく確認し、静かにろ材タンクに入れてください。
8. フィルター・エア抜きパイプをフィルタータンクに正しく入れてください。
9. ドレーンバルブを閉じ、16～18ページの作業を行い、運転を再開してください。

吸込みストレーナーのお手入れ

お手入れには中性洗剤を使用してください。また、やわらかいスポンジ等を使用してください。
硬いスポンジを使用しますとカバーに傷がつき、汚れが落ちにくくなりますのでご注意ください。

・カバーのお手入れ

カバーはネジ式になっておりますので取り外す場合は、
反時計回りにまわして取り外してください。
取付ける場合は、時計回りにまわして取りつけてください。
取付ける際、カバーと本体が水平になるように
はめ込み、しっかり取付けてください。



・フィルターのお手入れ

フィルター（金網）のお手入れは、古い歯ブラシ等
使用すると便利です。
髪の毛等の大きめなゴミは、手でつまんで取り
除いてください。
［注意］ フィルターは絶対に取り外さないでください。

点検・お手入れ

洗浄・殺菌メンテナンスマニュアル

※本機、配管の洗浄・殺菌は半年に1回以上、下記の手順の通りに行なってください。
※配管洗浄は出来るだけこまめに行ってください。汚れが溜まりすぎると落ちにくくなります。
※洗浄剤は洗浄及び消毒可能な塩素系洗剤を使用して下さい。
※作業中は換気をしっかり行ってください。また、手荒れ対策等を行ってください。
[注意] 酸性タイプの製品との同時使用は絶対にしないでください。
また、他の塩素剤との混合使用も絶対にしないでください。

1. 本機の運転を停止して下さい。
●手順は取扱説明書19Pをご覧ください。
2. タンク内の収納物(フィルター、ろ材等)をすべて取り出して下さい。
●手順は取扱説明書21P、22Pをご覧ください。
3. すべてのタンクに40℃くらいの湯を入れ、満水にしてフタをして下さい。
4. 漏電ブレーカーを「ON」にし、メンテナンスバルブを吸入側、吐出側の順番に開けて下さい。
●手順は取扱説明書16P～17Pをご覧ください。
5. 浴槽の中に下記の比率分量の塩素剤を入れよくかき混ぜて下さい。
※下記の塩素剤、中和剤の量は参考値です。湯量や入浴者数(汚れ具合)によって投入量を調整してください。

浴水量	塩　素　剤	残留遊離塩素	注) 中和剤
1000L	50g	約31．5mg／L	60g

※本機内、配管内の水量も加算すること。　注) 中和剤は8．項で使用します。

6. 運転を90分以上行なって下さい。(汚れがひどい時は、できるだけ長い時間運転を行ってください。)
[追焚風呂釜(給湯器)のあるものは、先に給湯器の設定温度を2℃上げて追焚運転が終了してから90分以上運転を行なって下さい。]
[給湯器(風呂側機能)に自動運転機能があるものは「OFF」にして下さい。]
7. フィルターの交換、ろ材の洗浄をしてきれいにして下さい。
●手順は取扱説明書21P、22Pをご覧ください。
8. 洗浄終了10分前位に中和剤を投入して浴水の残留塩素濃度を0．4mg／L以下にして排水(プール水水質基準)し、浴槽、装置内をきれいに洗い流してください。
9. 浴槽、本機に水を入れて満水にし、運転を開始し、20分以上すすぎ運転を行なって下さい。
10. 本機を停止して排水をして下さい。
11. フィルター、ろ材等を収納して本機の運転を再開して下さい。
●手順は取扱説明書14～18Pをご覧ください。

故障かな？と思ったら

■以下の項目を調べ、対処した上で、異常が直らない場合は、漏電遮断器（ブレーカー）の入・切レバーを切り、電源プラグを抜いて、販売店へ修理をご依頼ください。

（寒冷地の場合は、配管や本機の水抜きを行ってください。）

修理のご依頼の際は、ご使用の機種名・故障の状況等必要な情報を係員にお伝えください。

症　　状	原　　因	対　処　方　法
ブレーカーを「入」に	プラグが抜けている。	コンセントにプラグをしっかり差し込む。
しても運転しない。	電源スイッチが「OFF」になっている。	電源スイッチを「ON」にする。（20P）
	吐出・吸入のバルブが閉じている。	バルブを開ける。
お湯が循環しない。	タンクにエアーが溜まっている。	運転をやり直す。
お湯の循環が弱い。	エアーを吸い込んでいる。	ドレンバルブ・タンクのフタを締め直す。
	フィルター、ろ材に汚れが詰まっている。	洗浄・交換する。（21・22P）
	配管に異物が詰まっている。	異物を取り除く。
オゾンが出ない。	繰り返し時間設定が「0」になっている。	設定をし直す。（18P）
	エアー配管が詰まっている。	異物を取り除く。
	お湯の循環能力が低下している。	洗浄・交換する。（21・22P）
気泡が止まらない。	エアー配管が外れている。	配管を接続しなおす。
温度が上がらない。	温度設定が「OFF」になっている。	温度設定をし直す。（18P）
湯が冷める。	風呂フタをしていない。	フタをする。
お湯の量が異常に	浴槽の栓が抜けている。	浴槽の栓をしっかりとする。
早く減る。	配管等から漏水している。	販売店に連絡してください。
お湯が濁り異臭がする。	初期濁り。	浴水を入れ替える。
	フィルター、ろ材に汚れが詰まっている。	洗浄・交換する。（21・22P）
	塩素剤等の入れすぎ。	塩素剤を適量投入してください。
	使用条件を守っていない。	使用条件をお守りください。（4～11P）

故障かな？と思ったら

■次の様な場合は、故障ではありません。

こ　ん　な　と　き	理　　由
運転はしているのに、コントローラーの保温温度設定表示がOFFで点滅している。	電源投入時や停電復旧時には、温度設定が自動的にOFFになるようになっています。改めて温度設定をしてください。（18P）
保温温度設定をしても温度教示ランプの位置が、時間が経つと表示以外の位置に移ってしまう。	温度設定後10秒経つとランプの表示は現在の循環湯温、つまり浴水温度に切り替わるためです。時間が経てば設定温度に近づいていきます。
温度設定をしてもヒーターランプが点灯しない。	ヒーターランプはヒーター通電中にしか点灯しません。設定温度より湯温が低い時に点灯して保温します。
湯がぬるいので高温設定にしても、すぐに温度が上がらない。	ヒーターの能力が保温用のレベルなので、湯温を上げるのに時間がかかります。すぐに好みの温度にしたい場合は、給湯器から給湯してください。
設定温度と湯温が1℃程度ずれている。	温度設定値の1つ上の温度でヒーターがOFF、1つ下の温度でヒーターがONになるためです。また、温度精度が±1℃のためです。好みの温度にならない場合は、設定を1つずらしてください。
初運転や、メンテナンス直後、汚れや固まりが出てくる。	ろ材の粉が流れ出たためです。 水ぎわに付いた汚れはオーバーフローしたり、手でこすり、洗い流して下さい。底に溜まった固まりは、排水栓の側に集めて排水栓を少し持ち上げて、流してください。
設定温度より温度が上がってしまう。	夏場等、周囲温度が30℃前後をこえるような時、本機の放熱ができなくなり、循環ポンプの熱が湯に移る為です。熱い場合は水をたして湯温を調整して下さい。給湯器で追焚きされている場合は給湯器の取扱説明書もお読みください。

アフターサービス

保証書（別に添付されています）

保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、販売店または工事店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間はお買い上げ日から1年間です。

修理を依頼されるとき

「故障かなと思ったら」の項（24P，25P）に従って調べていただき、それでも直らないときは使用を中止し、お買い上げいただいた販売店にご連絡ください。

保証期間中は

保証書の規定に従ってお買い上げの販売店、工事店、サービス部門が出張修理させていただきます。

尚、以下の内容をご依頼時にご連絡ください。

●お名前、ご住所、電話番号、製品機種名、お買い上げ日、保証書の有無

●故障・異常の内容（できるだけ詳しく）

●ご訪問ご希望日

フィルター等の交換部品（消耗品）は保証期間中でも有料となります。

注意事項を守られなかった場合の故障については保証期間中でも有料になりますので注意事項を良くお読みの上、正しくお使いください。

保証期間が過ぎているときは

ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間

製造打ち切り後5年です。（性能部品とは、製品の性能を維持するために必要な部品です。）

同等能力の代替え部品により対応させていただく場合もございます。

ご不明な点は

お買い上げの販売店かお近くのサービス窓口におたずねください。

仕　様

KN－2400 BS－○タイプ　（電気ヒーター保温内蔵式）

型　　式		KN－2400 BS－1	KN－2400 BS－2	KN－2400 BS－3
用　　途		一般家庭用	業務用	
浴槽容量		満水量700Lまで	満水量1000Lまで	
定格電圧		単相AC100V	三相AC200V	
定格周波数		50Hz／60Hz共通	60Hz専用	50Hz専用
定格消費電力	全運転時	1170W／1220W	2223W	2215W
	平常時	170W／220W	223W	215W
	ポンプのみ	160W／210W	210W	202W
保温装置		電熱式、投げ込みフランジ式　1kw	電熱式、投げ込みフランジ式　2kw	
入浴人数		7人／日	10人／日	
殺菌手段		オゾン発生器＋塩素殺菌		
浄化方式		物理処理＋（生物処理）		
安全装置		漏電遮断装置（定格感度15mA・高速型） 過昇温防止装置（MAX60℃・50℃自動復帰）		
制御装置		保温調節　OFF・38～46℃の8ポイント クリーン運転（オゾン運転）：ON・OFF時間任意設定（自動）		
水質基準		公衆浴場法に適合（ただし濁度は2度以下）		
お手入れの方法		「その他の注意」及び「お使いになる前に」 に記載の通り		
耐　　圧		0．1MPa （1．0kg／c㎡）		
配管接続口径		25A （Rc・1）		
外装材質		ステンレス （SUS304）		
外形寸法		本体　：　805（幅）×740＋20（高さ）×300（奥行）mm		
		電源ｽｲｯﾁ　：　67×67×t13　　ｺﾝﾄﾛｰﾗｰ　：　151×75×t35		
重量（梱包重量）		約47kg		
		ろ材　：　約17kg　・　部品箱セット　：　約1．7kg		
付　属　品		取扱説明書　・　設置工事説明書　・　保証書　・　DXカバー　・　ドレーンセット　・　アース棒 電源スイッチ　・　コントローラー　・　ろ材（別梱包）　・　部品箱セット（別梱包）		

※仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

業務用温泉お風呂チェックリスト

機 種 名		製 造 番 号	
消 毒 剤 名			

チェック項目及び記号

フィルター交換及びろ材洗浄 … ○　　消毒剤投入 … －

換　水 … ×　　浴水検査 … △

配管洗浄・消毒 … □

[月 間 チ ェ ッ ク リ ス ト]

＿＿＿年＿＿月

○	－	×	□	△

月	火	水	木	金	土	日

[年 間 予 定]

＿＿＿年

○	×	□	△

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

※ コピーしてご利用ください。

株式会社 矢島

（営業所・サービス窓口）

［注］温泉お風呂に関するお問い合わせは以下の窓口へご連絡ください。

ﾔｼﾞﾏ温泉お風呂(株)　東京都世田谷区砧７－４－１１　〒157-0073　TEL 03-3749-3604